

令和6年度組織目標

部局名	教育委員会
R6年度に特に注力する事項（目標）	○笑顔あふれる学校づくり 目標： ・時間外在校等時間の短縮（月45時間以内）
	○魅力ある県立高校づくり 目標： ・特色ある教育活動を行う高校の拡充
	○特別支援教育の充実 目標： ・新設特別支援学校の設置場所の決定
	○読書活動の推進 目標： ・学校図書館における学校司書の拡充
	○多様な学びの機会の確保 目標： ・校内外教育支援センターでの学びの充実
	○学校におけるCO2ネットゼロの推進 目標： ・CO2ネットゼロ社会に向けた高校におけるムーブメントの拡大

所属名	教育総務課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○安全・安心で快適な教育環境の整備 目標： ・長寿命化対策を講じていない県立学校施設の老朽化対策について整理・検討を行う。 ・「県有施設更新・改修方針」の見直しに合わせて、更新改修事業として事業化を行う。
	○生きる力を育むICTを活用した教育の推進 目標： ・各県立高校等のネットワークの安定運用、ICT環境の改善を図り、端末の効果的な活用を促進する。 ・授業にICTを活用して指導できる教員の割合の向上 R4年度：高等学校 69.6% 特別支援学校 54.1%
	○【見直し・効率化】教育行政のDX推進 目標： ・県立学校が発行する各種証明書の電子申請化 ・奨学資金貸与事務における自動化の推進 （AI-OCRによる申請書類読込、RPAによる財務会計システム登録） ・教育ICT化推進にかかる教員からの24時間365日問合せ対応 （AIチャットボットの本格導入）

所属名	教職員課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○子どもも教職員も笑顔あふれる学校づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> 一人あたりの時間外在校等時間を前年度より減少させる。 目標： <ul style="list-style-type: none"> 「やりがいを感じる」、「職場は働きやすい」と回答する教職員の割合を増やす。
	○本県の教員を目指す優秀な人材の確保 <ul style="list-style-type: none"> ファーストステップ支援事業の延べ参加者数80人 目標： <ul style="list-style-type: none"> 教員採用選考試験の受験者を前年度より増加させる。
	○メンタルヘルス対策の充実、強化 <ul style="list-style-type: none"> 長時間労働者への面接指導率を前年度より向上させる。 目標： <ul style="list-style-type: none"> 長時間労働者への面接指導率を前年度より向上させる。
	○【見直し・効率化】免許法認定講習受講料収納の電子化 <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度上半期中に実現する。 目標： <ul style="list-style-type: none"> 令和6年度上半期中に実現する。

所属名	高校教育課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○グローバル人材の育成 <ul style="list-style-type: none"> 生徒が自ら計画した探究活動を伴う海外留学を行う海外留学支援事業や、国際バカロレア推進事業、WWLコンソーシアム構築支援事業などの充実・発展を図ることでグローバルな視点で地域の課題解決に向けて主体的に取り組む人材を育成する。 目標： <ul style="list-style-type: none"> 生徒が自ら計画した探究活動を伴う海外留学を行う海外留学支援事業や、国際バカロレア推進事業、WWLコンソーシアム構築支援事業などの充実・発展を図ることでグローバルな視点で地域の課題解決に向けて主体的に取り組む人材を育成する。
	○新しい入学者選抜の実施内容の構築 <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度県立高等学校入学者選抜の実施について、各高等学校の特色が反映された実施計画概要を取りまとめ秋をめどに公表 目標： <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度県立高等学校入学者選抜の実施について、各高等学校の特色が反映された実施計画概要を取りまとめ秋をめどに公表
	○学校の特色を活かした探究的な学びの充実 <ul style="list-style-type: none"> 「高校生によるしが学びの祭典」を開催し、研究指定校が取り組む、自校の特色を活かした先進的な探究活動を県内に幅広く発信し、探究的な学びの質の向上と充実を図る。 目標： <ul style="list-style-type: none"> 「高校生によるしが学びの祭典」を開催し、研究指定校が取り組む、自校の特色を活かした先進的な探究活動を県内に幅広く発信し、探究的な学びの質の向上と充実を図る。
	○魅力ある県立高等学校づくりの推進 令和7年度の新学科設置に向けた取組の推進 各県立高等学校の主体的な取組の促進 <ul style="list-style-type: none"> 学校評価において、魅力化の取組が進んだと評価された県立高等学校80%以上 目標： <ul style="list-style-type: none"> 学校評価において、魅力化の取組が進んだと評価された県立高等学校80%以上
	○【見直し・効率化】県立高等学校入学者出願事務 <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度県立高等学校入学者選抜から導入するインターネットを利用した電子手続きによる出願事務システムの構築に取り組む。 目標： <ul style="list-style-type: none"> 令和8年度県立高等学校入学者選抜から導入するインターネットを利用した電子手続きによる出願事務システムの構築に取り組む。

所属名	幼小中教育課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○第Ⅲ期学ぶ力向上滋賀プランの推進</p> <p>・学校図書館に携わる者の連携をより強め、子どもたちの主体的な読書活動の拠点となる学校図書館の活性化を図る。 - 「読書は好き」と肯定的に回答した児童生徒の割合の増加 （令和5年度 小学校：68.3%、中学校62.7%）</p> <p>目標： ・CBTに取り組んだ調査結果のデータを基に、一人ひとりの学びの状況に応じた「個別最適な学び」につながる指導の充実を図る。 - 「国語／算数・数学の授業はよくわかる」と肯定的に回答した児童</p> <p style="text-align: center;"> 生徒の割合の増加 令和5年度 小学校 国語：90.3%、算数：84.3% 中学校 国語：81.3%、数学：62.7% </p>
	<p>○不登校の状態にある子どもへの支援</p> <p>・教育支援センターが不登校児童生徒への支援に係る地域の総合的な拠点となるためのモデル構築を行う。 （新）不登校対策COCOLOプラン関連事業(7,744千円)</p> <p>目標： 支援につながっていない児童生徒数を前年度比30%減少 （令和4年度 公立小中1097人）</p>
	<p>○夜間中学開設準備の推進</p> <p>目標： 11月までに入学説明会を2回実施し、県民に広く周知を図るとともに、必要な環境整備を行う。</p>
	<p>○幼児期教育センター事業の推進</p> <p>目標： 園と合同で「架け橋期のカリキュラム」を作成し、実施・検証・改善に取り組む小学校数を増やす。</p>
	<p>○【見直し・効率化】ペーパーレスの推進</p> <p>目標： ・課内協議は、原則、ペーパーレス化とする。 ・完全電子起案の増加を図る。</p>

所属名	特別支援教育課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○県立特別支援学校の新設および教育環境整備の推進</p> <p>目標： ・県立特別支援学校の新設に向けて、地元市とも協力しながら、候補地の選定を進めるとともに、具体的な施設整備の内容を検討する。 ・北大津養護学校の校舎増築など、その他の教育環境整備についても、教育総務課や各学校等と連携、調整を図る。</p>
	<p>○インクルーシブ教育システムの構築に向けた取組の推進</p> <p>目標： ・インクルーシブ教育システムの構築に向けて、副籍（副次的な学籍）制度の定着を図るとともに、特別支援学校「分教室」設置の研究などの取組を推進する。 ・県立高等学校における特別支援教育の充実のため、高等養護学校との連携強化により、助言や課題解決を図る体制を構築する。</p>
	<p>○滋賀のめざす特別支援教育ビジョン（実施プラン）による取組の総括と次期計画の検討</p> <p>目標： ・「滋賀のめざす特別支援教育ビジョン（実施プラン）」の計画期間（平成28～令和7年度）の終期を見据え、次期計画の検討に着手し、現行プランの進捗状況や新たな課題等も踏まえつつ、令和8年度以降の取組の方向性を検討する。</p>
	<p>○【見直し・効率化】オフィス環境の改善による業務効率化等</p> <p>目標： ・各種会議・研修等のオンライン開催や資料のデータ送付による配付省略、課内協議等のペーパーレス化を推進するとともに、各学校や市町から報告・調査回答等に「しがネット受付サービス」を活用するなど、業務の効率化を図る。</p>

所属名	人権教育課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○教職員の人権感覚・指導力の向上</p> <p>目標： ・各校における重点テーマ研修（令和6年度は「子どもの声を聴く～令和5年4月「こども基本法」施行～」）の実施率【年度末までに100%を目指す】</p>
	<p>○人権についての正しい理解と認識を深める学びの充実</p> <p>目標： ・人権教育における「参加・協力・体験」的な学習の実施校の割合【全校種で100%を目指す】 ・人権教育における「参加・協力・体験」的な学習の充実</p>
	<p>○子どもの「自尊感情」を育む取組の推進</p> <p>目標： ・自尊感情に関する「いしずえアンケート」（年間2回、6月・12月実施）において、肯定的に回答する児童生徒の割合の向上を目指す。</p>
	<p>○【見直し・効率化】ICTの積極的活用</p> <p>目標： ・AI等を活用した要約筆記、議事録の作成 ・会議等におけるペーパーレス化の一層の推進 ・研修講師等、オンラインによる打ち合わせの実施</p>

所属名	生涯学習課
R6年度に特に注力する事項（目標）	○「県第5次子ども読書活動推進計画」に基づく「こども としょかん」の取組推進 目標： ・「学校図書館サポーター養成講座」修了者の割合 80%以上
	○地域とともにある学校づくりに向けた持続可能な取組の推進 目標： ・学校運営協議会を設置する公立学校の割合 74%
	○地域の課題解決につながる社会教育の推進 目標： ・社会教育士の有資格者数累計60人 ・家庭教育支援チームを組織する市町数13市町
	○【見直し・効率化】協議の電子化徹底によるペーパーレス化に加え、照会回答の電子化およびファイリング資料の絞り込み等によるペーパーストックレス化の推進 目標： ・所属の用紙使用量（購入量）の前年度比からの削減

所属名	図書館
R6年度に特に注力する事項（目標）	○「こども としょかん」サポートセンターによる学校図書館充実に向けた働きかけ 目標： ・センターによる訪問校数 21校（各市町1+特別支援学校2）
	○来館利用者の満足度の向上 目標： ・利用者アンケートにおいて、来館目的の達成度(満足度)を「満足」「大変満足」とした回答者の割合 80%
	○市町立図書館に対する支援の充実 目標： ・県立図書館による情報提供に対する市町立図書館の満足度 90%
	○【見直し・効率化】会議等の効率化 目標： ・事前の資料共有・ペーパーレス化の徹底による、館内会議の所要時間と用紙の削減

所属名	保健体育課
R6年度に特に注力する事項（目標）	<p>○学校体育を中心とした運動の習慣化および中学校の部活動の地域連携と地域クラブ活動への移行</p> <p>目標： ・部活動指導員や地域クラブ活動等の外部指導を受けている生徒数の増加 現況：2,313人 ⇒ 3,580人</p>
	<p>○学校安全の推進</p> <p>目標： ・高校生のヘルメット着用を警察本部等と連携して推進し、生徒の交通安全向上を図る。 ヘルメット着用推進モデル校：3校</p>
	<p>○学校保健の機能強化</p> <p>目標： ・子どもの心の健康課題等への理解を含め、スクールカウンセラーなど多職種で連携して対応できるよう教職員の対応力を高める。 「研修での学びを学校でいかせる。または一部いかせる」と回答した受講生：100%</p>
	<p>○する・みる・支える「三方よし」で、参加する全ての方が笑顔になる全国高校総体の開催に向けた準備</p> <p>目標： ・わたSHIGA輝く国スポ・障スポのノウハウ等を活かしながら次の準備を進める。 「する」：出場する選手がベストの状態ですべての選手が安心して競技に臨むことができる体制づくり 「みる」：観覧されるすべての方が安心して競技を見る（応援する）ことができる環境整備 「支える」：高校生が様々な形で関わり、大会を支える仕組みづくり</p>
	<p>○【見直し・効率化】会議や研修実施におけるICTの活用</p> <p>目標： ・会議等のオンライン開催や開催後アンケート実施にICTを活用し効率化を図る。</p>